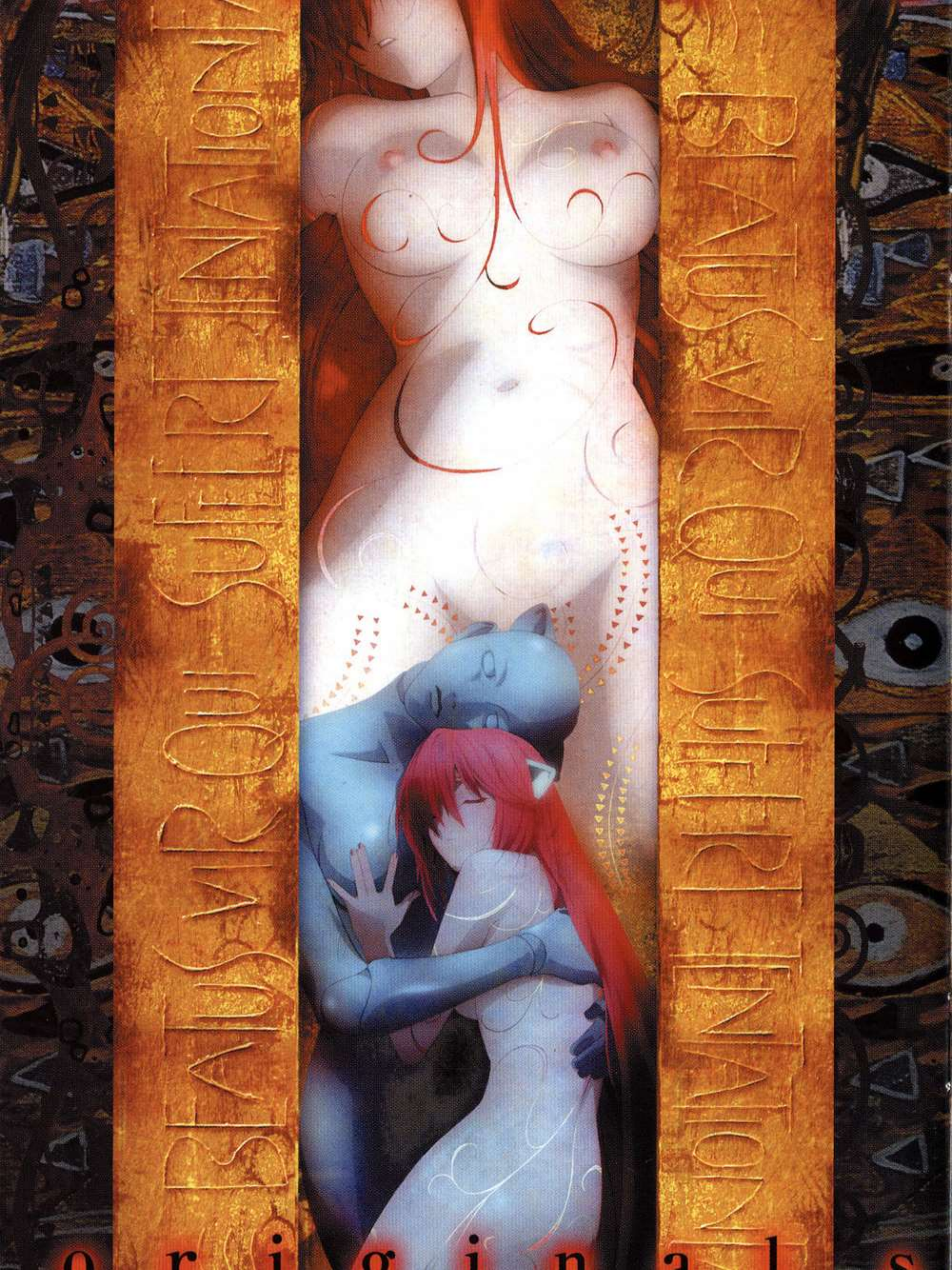

ELFEN LIED
エルフェンリート
elfen lied


originals

1. LILIUM ~opening version~
2. 渴 望
3. 深 海
4. 花 容
5. 閃 光
6. 揺 籃
7. 浄 罪



8. 輪 廻
9. 約 束
10. 剥 離
11. 虚 空
12. 陽 光
13. 螺 旋
14. 雨 露
15. LILIUM ~saint version~

原作を読み進めてみて思ったのは、これはラブ

「お前が一番向いてないと思うから」という訳の分からない理由で、
友人である吉岡たかをの推薦を受けて監督を引き受けることになった。

主人公だと思ってた如月があっさり死ぬ……
ヒロイン的に登場したナナの両手足が飛ぶ……
キーとなるキャラクターであろう筈の角沢の首があっさり飛ばされる……

こりゃ大変な仕事を引き受けたな……
と思いつつ原作を読み進めてみて思ったのは、
これはラブストーリーであり泣かせる作品に出来ると……
気持ちを出すのは望むところだし
バイオレンス描写は尻込みさえしなければやれる、
毎回紙芝居のようにここで終るの?と思わせる作りにしよう、
それに舞台は鎌倉……乗ってやれるぞと意気込んでみたところ、
どうしても分からないことが一つ……
「萌えって何?」
「お前は素でやって萌えになってるからフツーにやりゃいいんだよ」
という吉岡たかをの答えになってない答えに励まされて、キーワードを捜した。

コントラスト……

本来なら向いてないかも知れないグレゴリアン聖歌をイメージに
作曲してもらった「LILIUM」がよりイメージを広げてくれた。
この曲のお陰で膨らんだシーンは幾つもある。
始めてやる1クールは短かった。
もう2、3本欲しい、もっとたっぷりやりたかったと思う反面、
4クールをやったようなボリュームを感じるのはどうしてだろう?
サンドイッチを食べながら吉岡たかをとブツクサ話しながら
出来上がった薄味料理のようなラストシーン……とても気に入っている。

神戸 守
m a m o r u k a n b e

「風の谷のナウシカ」の制作としてアニメ業界へ入る。95年「NooBow」96年「はりもぐハーリー」01年「コメットさん☆」03年「マシンロボ」の監督を担当。「カードキャプターさくら」(各話演出)、「コメットさん☆」などでは、キャラクターたちの日常を丁寧に描き出すことで「萌え」ファンをも唸らせた手腕も持つ。


QUAM SANCTA
QUAM SERENA
QUAM BENIGNA

次回必ず観たい気にさせるような ラストシーンを作ることに一番こだわった。





「エルフェンリート」の現場は異様な熱気があった。
この原作のアニメ化を実現させるために、
原作者、監督、プロデューサーの作品に対する熱意は相当のものがあった。
それらのエネルギーを全て受け止め、
更に1本の形にするために今回は極力それらのまとめ役に徹した。
そのため作家的要素は原作の岡本先生と監督にお任せし、
僕は頁が外れるほど原作を読み込んだうえで、
作品として視聴者が飽きずに観てくれるための精一杯の技術提供に、
足りない頭の大半を使った気がする。
特に、原作の強引な「引き」に準じて
次回必ず観たい気にさせるようなラストシーンを作ることに一番こだわった。
僕は13本シリーズの仕事が多いのだが、
今回ほど13本という本数が短いと感じたことはない。
もっと掘り下げたかったキャラクター、描きたかったエピソードが山ほどある。
原作は、連続ものでまだ連載途中である。
アニメ版のラストをどのように締めるかは紆余曲折があった。



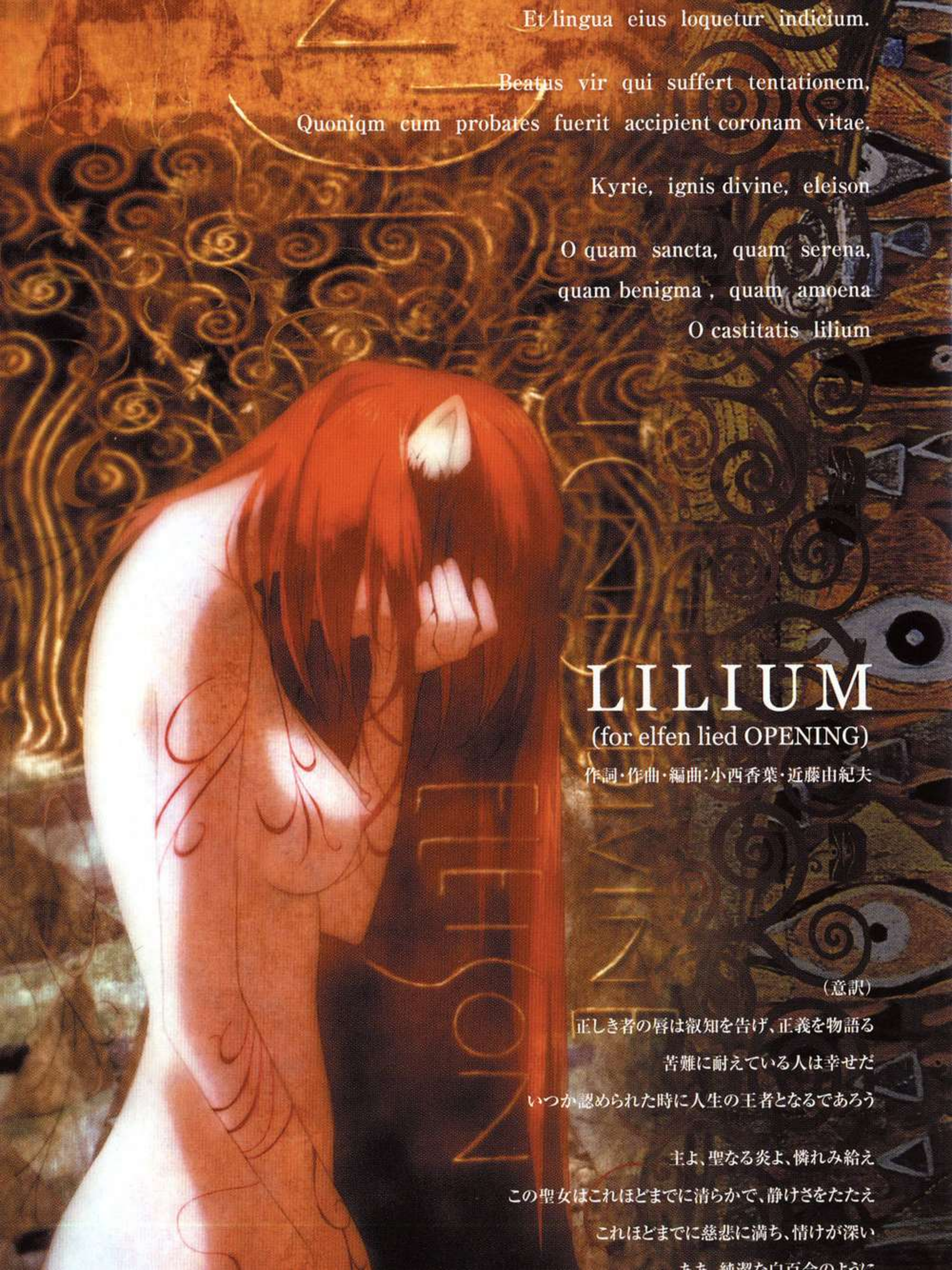


最初のシリーズ構成当初から数えると、
全く違うパターンをおそらく10種類以上は作ったと思う。
ラストの流れが決定した後も、監督は粘りに粘って、
僕もそれに最後までつき合って結局6回ほど書き直した。
神戸監督の演出には全く不安を抱いていなかったが、
とにかく寡黙で頑固な男ほどタチが悪いことをあらためて実感した次第(笑)。
この作品に関して、おそらく様々な意見が飛び交うことは想像に難くないが、
スタッフ全員が腹をくくって送り出した作品である。
映像に焼き付けられたスタッフのエネルギーを感じ取って頂けると幸いである。

吉岡たかを

takao yoshioka

アニメ制作会社、ゲームメーカー等勤務後、フリーライターとなる。 ゲームのシナリオライターを経て、テレビアニメ『下級生』からアニメ脚本を手掛ける。 代表作は「HAPPY☆LESSON」「MEZZO」「一騎当千」など。



Et lingua eius loquetur indicium.

Beatus vir qui suffert tentationem,
Quoniqm cum probates fuerit accipient coronam vitae.

Kyrie, ignis divine, eleison

O quam sancta, quam serena,
quam benigma, quam amoena
O castitatis lilium

LILIUM

(for elfen lied OPENING)

作詞・作曲・編曲:小西香葉・近藤由紀夫

(意訳)

正しき者の唇は叡知を告げ、正義を物語る

苦難に耐えている人は幸せだ

いつか認められた時に人生の王者となるであろう

主よ、聖なる炎よ、憐れみ給え

この聖女はこれほどまでに清らかで、静けさをたたえ

これほどまでに慈悲に満ち、情けが深い

ああ、純潔な白百合のように

ありふれた幸せ……そんな角度から
この『エルフェンリート』を感じた時に、
メインテーマである「LILIUM」の
祈るような旋律が浮かびました。



何年か前に「I wanted your arms...」とサビで繰り返しせつなく狂おしく歌う英語詩のRED-CHERRYという唄をMOKAで創りました。ミュータントであるルーシーの無数に伸びてくる手を観ていて、ふとそのことを思い出したのは……現代人を滅ぼすことのできる究極の武器として描かれている彼女のベクターが、もがきながらも欲しいものへと自らの手を伸ばしているようなルーシーの必死な生き方を表しているようにも想えたからです。

望んで特別に生まれたわけじゃない、欲しいものは簡単に手に入りそうでほんの一握りの人しか手に入れられないであろう、ありふれた幸せ……そんな角度からこの『エルフェンリート』を感じた時に、メインテーマである「LILIUM」の祈るような旋律が浮かびました。

そして音楽に美しい絵がついたオープニングを拝見した時に、世の中に「偶然」は存在しないという言葉をつくづく実感しました。（小西の部屋に飾ってある金額縁の大きな絵は、クリムトの「接吻」なのです！）

岡本先生の魅力的な原作、信頼して音楽を任せてくださったプロデューサー・スタッフの方々、自由と鎖を同時に与えてくださった監督、そしてこの音楽を聴いてくださる皆様のおかげで、私たちのサウンドトラックは誕生するべくして誕生することができました。

皆様に、運命に、心からの感謝を込めて私たちの音楽を捧げます。

kayo konishi
yukio kondo

小西香葉・近藤由紀夫

歌ものや、アニメ・映画・TVドラマのサウンドトラックの作詞・作曲・編曲・プロデュース等、幅広く音楽制作を手がける。それぞれが各々の創作をしつつ、個性の違う二人がひとつの作品を異なった角度からクリエイトしていくことで、型にはまらないユニークな音楽世界を構築できるようにとはじめたユニットMOKAでも活動中。オリジナルアルバム「Evidence of Life」を発表している。

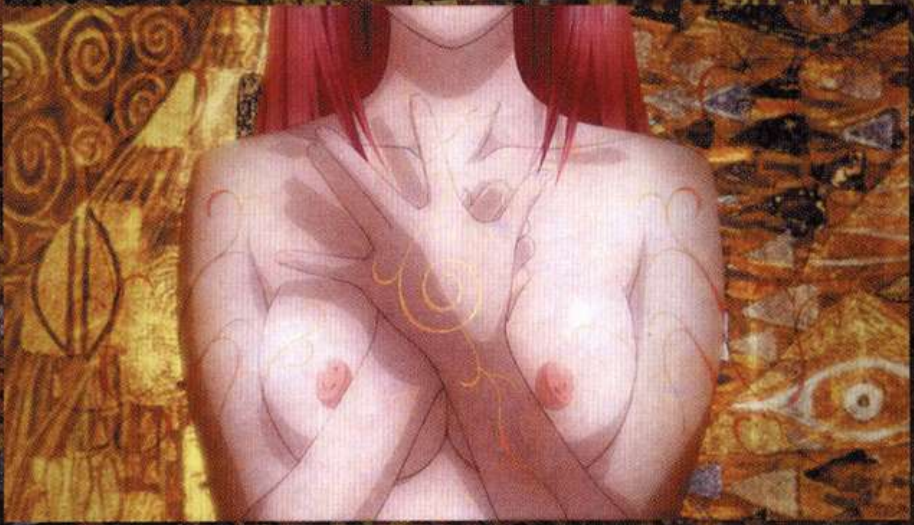
主なサウンドトラック制作作品 映画「恋文日和」「CROSS」／アニメ「コメットさん」「UG」／連続TVドラマ「NHK・火消し屋小町」「YTV・PURE SOUL」他多数。

Composed , lyrics , arranged & produced by 小西香葉・近藤由紀夫

Recording Engineer : 坂元達也・岡田 勉

Mastering Engineer : 鈴江真智子 (Sony Music Studios Tokyo)

Strings : 篠崎ストリングス
Violin Solo : 篠崎正嗣
Cello Solo : 堀沢真己
Contrabass : 斉藤 順
Sax : 佐野博美
Voice : 野間久美子 (1)・GRIFFIN Chorus (15)



BOOKLET ILLUSTRATION STAFF

〜オープニングイラストより〜

絵コンテ : 神戸 守
作画監督 : きしもとせいじ
原画 : りんしん
動画 : かわたつ
色指定 : 松本光倫
仕上 : 中田亮大・北沢希実子
背景・撮影 : 三田小太郎


O CASTITATIS LILIUM
O CASTITATIS LILIUM
O CASTITATIS LILIUM
O CASTITATIS LILIUM


KYRIE IGNIS DIVINE ELEISON
O CASTITATIS LILIUM